

—小平のまちづくりについてみんなで考えましょう—  
まちづくりカフェ・ニュース Vol.2

平成 27 年 2 月



小平のまちづくりについて考える  
まちづくりカフェ第2回を開催しました！



ご好評をいただきました第1回まちづくりカフェに引き続き、第2回まちづくりカフェを2月14日に開催いたしました。第2回も、多くの市民の方にご参加いただき、非常に活発な意見交換がされました。

今回は、第1回で各グループが設定したテーマについて、ワールドカフェ形式で意見交換を行いました。その様子について、ご報告いたします。

【開催概要】

- ◆日 時：平成27年2月14日（土）9時半～12時
- ◆場 所：小平市中央公民館 2階 学習室4

第2回の内容

- 1 開会
- 2 意見交換1
- 3 意見交換2（ワールドカフェ）
- 4 本日のまとめ
- 5 閉会



ワールドカフェを行いました

本日は、第1回に各グループで話し合って確認した「議論を深めたいテーマ」について意見交換を行いました。

その際、前半は前回と同じグループで話し合いを行い、後半はグループのメンバーが関心のあるテーマのグループに移動して話し合いを行う「ワールドカフェ」という形式の議論の進め方を取り入れました。

〈ワールドカフェって何？〉



ワールドカフェは、最初に決めたグループから、一人を残してメンバーの組合せを変えて議論を深めます。これを数回繰り返して元のグループに戻り、残っていた一人が、全員に議論のまとめを報告します。カフェのような雰囲気を活かして、知識や考えを共有し、相互理解を深める機能を重視したコミュニケーション手法で、次のような効果が期待されます。

★話しやすさが生まれる

★発言の機会が増える

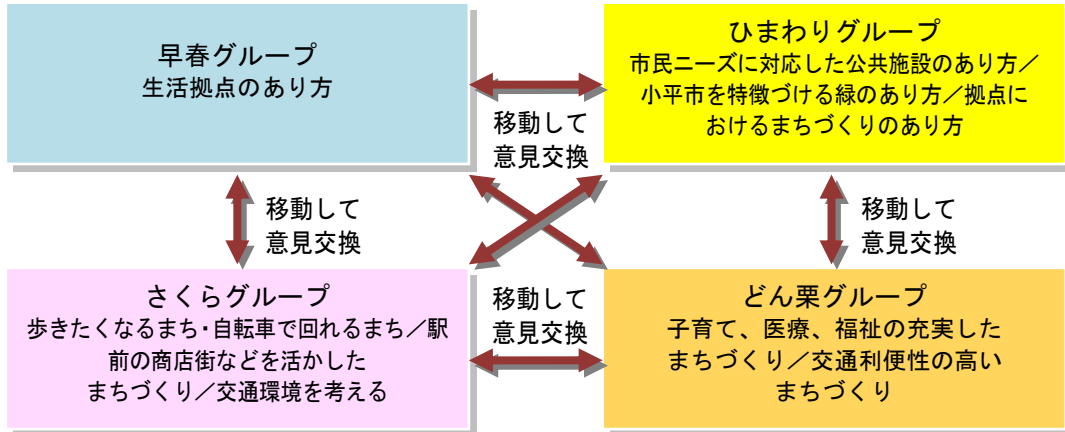
★より多くの参加者の意見が集まる

★参加意識が高まり満足度も高まる

# グループワークの概要

前回、各グループで確認したテーマは以下のとおりです。後半のワールドカフェでは、関心のあるテーマのグループに30分ごとに2回の移動を行って、議論を深めました。

《前回決めた各グループのテーマ》



## ■早春グループ

### 小平の特徴

- ・小平の特徴として、「高低差があまりない（平地が多くて暮らしやすい、窓から見える景観がやや単調）」、「東西に長くて駅が7つある（便利な反面、どこが中心かわかりにくい）」、「線路で地域が分断されており南北方向の幹線道路が少ない」といった意見が出ました。

### 買い物環境について

- ・「まちを大型化させないことが大切（買い物の時にコミュニケーションがほしい）」  
「大型スーパーに依存しすぎると小平らしさがなくなる」、「ネットショップの利用率が増えているが、買えないものもある」といった意見が出ました。



### 地域の情報を発信する

- ・地域の魅力を知ってもらうため「市内のおススメの店をMAP等で紹介する」、「ブルーベリーの摘み取りができるところやルネこだいらのお屋の500円コンサート等を紹介する」といった意見が出ました。

### 空き家を活用する

- ・まちを元気にするために「空き家を学生など若い人に活用してもらう（チャレンジショップ等）」、「学生がリノベーションに関わる」といった意見が出ました。
- ・また、そのために「オーナーと学生を結びつける仕組みが必要（市民レベルでできないか）」といった意見も出ました。

### 大学と連携する

- ・大学が多いことを活かし、「図書館や学食を地域の人が使えるようにする」、「クラブ活動の発表会やオープンカレッジなど日常的に出入りできるようにしてはどうか」といった意見が出ました。

### 市外から人を呼びこむ

- ・定住人口や交流人口を増やすため「まちの魅力に気づいてもらう工夫が必要」、「他のまちにないウリをつくってアピールしないといけない」といった意見が出ました。一方、「小平市は住宅地であり、観光地のように人を呼びこむ必要はないのではないか」といった意見もありました。



## ■さくらグループ

### バス交通

- ・バス交通については「東西方向で分断されている」といった意見が多く出ました。
- ・その他、「高齢化が進む地区（都営住宅のある辺り）の居住者が使いやすいように、定期的に路線見直しを行う」、「隣接する市と行き来できるコミュニティバスがあれば良い」、「定時性の確保は公共交通利用における基本である」といった意見が出ました。
- ・また、「市に核が無いと、バス路線のネットワークがきちんと形成されないのではないか」、「バス路線を考えることと並行して、市の核づくり（高齢者が求める機能を集約する等）が必要」といった意見も出ました。



### 道路環境

- ・「道路のネットワークをきちんと考えた上で整備を進めるべき」、「自動車が快適に走る／歩行者が安全に歩ける道づくりをきちんとする。自転車利用の話はその次ではないか」といった意見が出ました。

### 駅前の商店街

- ・「駅前の商店街とは言え、これだけ車利用者が増えているのだから駐車場は絶対必要」という意見が多く出ました。また、それに関連して「商店街利用者には一定時間無料にする、といった工夫をしないと利用しないだろう」といった意見も出ました。
- ・その他、「自転車利用者、自動車利用者のマナーの悪さ」を指摘する意見も出ました。

### まちの将来像（どんなまちにしたい？どんなまちづくりが必要？）

- ・「そもそも小平市はどんなまちを目指すのか」という話題が出て、「子育てしやすいまち」、「若者が住みたくなるまち」、「ライフスタイルの変化に対応できるまち」等を目指す必要があるという意見が出ました。
- ・また、「若い頃と歳を取ってからでは生活の目的が違うので（若い頃は利便性、年を取ってからはコミュニティ）、地域の人と知り合う事ができるきっかけづくりが重要である」、「一歩踏み出せない団塊の世代の人たちがまちづくりに参加してみようと思えるようなアプローチが大切ではないか」といった意見も出ました。

## ■ひまわりグループ

### テーマ① 市民ニーズに対応した公共施設のあり方

- ・全般に「公共施設は整備されていると思うが、今後は多様化する市民ニーズに対応していく必要があるのではないか」という意見が出ました。
- ・その他、個別の施設については以下のような意見もありました。
  - 学校 小・中学校設備の格差が明らかであり不公平である。
  - 病院等 医療施設に関する情報がなく、どこにいけばいいかわからない。  
深夜に子どもを診てもらおうとする時に困ることが多い。
  - 高齢者福祉 高齢になった際に安心して暮らせる環境整備が必要。  
健康な一人暮らしの高齢者が集い、交流できる場所が必要。



### テーマ② 小平市を特徴づける緑のあり方

- ・玉川上水について「恵まれた緑の質の向上を図っていく必要がある」、「身体と心が癒やされる緑に育てることが大切」、「歩道沿いに案内板やトイレ、休憩できるベンチやテーブルなどがほしい」、「玉川上水、野火止用水等をつなぐグリーンストラクチャを整備してはどうか」といった意見が出ました。
- ・その他、「開催されている緑を楽しむイベントをもっと周知する」、「緑に恵まれたまちであることを

PRしよう」、「ブルーベリーの農業体験を企画してはどうか」といった意見も出ました。

### テーマ③ 拠点におけるまちづくりのあり方

- ・「中心と呼べる拠点がなく、それぞれの駅周辺の賑わい形成と拠点間の連携が必要」、「駅周辺の駐車場や駐輪場の整備」、「駅周辺の防災機能の向上が必要」といった意見が出ました。
- ・大学が多い点に着目し、「学生と交流する機会を充実させる」という意見が出ました。具体的には「イベントへの学生の参加促進」、「学生と協力して小平の良い点を伝えるイベントの企画」、「学生が集う場所づくり」、「学生ニーズを把握するアンケートの実施」など多くのアイデアも出されました。

## ■どん栗グループ

### 公共交通

- ・公共交通の利便性について「公共交通で行きにくい公共施設がある」、「バス路線はある程度整備されているが地域差はある」、「行き先や乗り換え方法など分かりにくい」などの意見がありました。
- ・また、「コミュニティバスはシルバーバスなどが使えないため利用しにくい」、「隣接市の駅や施設まで巡回するようなコミュニティバス路線があると良い」といった意見もありました。



### 医療・福祉関連施設

- ・「診療所の診察時間や休日診療をしてもらえるかが分からず困る場合がある」、「待機児童が増えており、保育所等の充実が必要」という意見がありました。
- ・それに対し「空き家や空き店舗を活用して医療施設やデイサービスなどを作れば、便利になり、まちの活性化にもつながるのではないか」という意見が出ました。

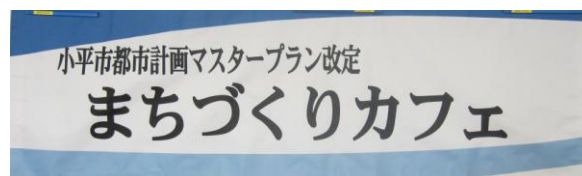


### まちの情報の提供

- ・「まちの様々な情報を提供することで利便性の向上が図られるのではないか」という意見が出ました。具体的には「公共交通のルートや乗り換え案内、福祉施設の利用時間などの情報を一元的に発信する」、「街中に情報ボックスを設置する」、「人が集う場所に情報誌を置く」などの意見が出ました。
- ・また、「インターネットを使える人向けと使えない人向けに情報提供の方法を変える必要がある」、「情報提供が高齢者の引きこもり防止にも役立つのではないか」といった意見も出ました。

### 地域による助け合い

- ・「自治会の加入率の低下（新住民は自治会に入らない）」に対する問題意識が意見として出ました。
- ・しかし、地域のつながりは重要であることから「地域の中で情報を伝える仕組みがあると良い」「そういった仕組みがコミュニティ醸成にもつながる」、「行政に頼らず自分たちで何ができるか考えることが大切」といった意見が出ました。



「まちづくりカフェ Vol.3」も  
お楽しみに♪



《問合せ先》 小平市 都市開発部 まちづくり課 計画担当

電話 042-346-9554(直通) / FAX 042-346-9513(代表) / e-mail dh0012@city.kodaira.lg.jp

※グループワークでの話し合いによるご意見は、参加者の思いやお考えとして、そのまま掲載しております。